

高畠町立小学校教育環境等検討委員会

第6回会議録

日 時：令和7年7月29日（火）午後6時30分～午後8時13分

場 所：高畠町役場 大会議室

出席者：検討委員会委員12名（3名欠席）、事務局4名

◇開会

◇委員長あいさつ

こんばんは。暑いが続いています。前回は申し上げましたが私たちの任期は9月までとなっていますので、議論の焦点をまとめるというより、議論の大枠の方向性と委員の皆さんが気がかりになっていることや考えたいと思っていること、言い残したことや言いきれなかったことがないように進めさせていただきたいと思っていますので、ぜひ今日も忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

◇協議

事務局 それでは早速協議に入ります。座長を委員長にお願いいたします。

委員長 それでは（1）前回のおさらいということで、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料により前回出された意見について説明する

委員長 前回は、高畠町の学校の規模とかお子さんの数の推移とか基礎的なデータを改めてお示しいただいたと思いますが、そういう中で統合の方向を検討せざるを得ないのではないか、その方向性を考えていかざるを得ない状況になっているのではないか、ということについてのご意見をいただく一方、高畠町が現状もっている良さとか継いでいかなければならないことはどういうものか、あるいは実際にそれを進めるにあたって懸念事項が当然あると思いますので、それらについてご意見があればグループの中でご協議をお願いしたいと思います。25分から30分程度予定したいと思いますのでよろしくお願いします。

——— グループ毎に意見交換 ———

委員長 では、一旦そこまでにしてください。大事にしたいことについてお話しいただいたと思いますが、統合の方向性を議論するときにいろんな意見が出てくると思いますので、同じ話をするようになるかもしれませんが、少し角度を変えて、「こういう風に進むのであれば統合の意味はないのではないか」とか、「こういう風になるのであれば統合は待つてほしい」とか、「ここを議論しないで統合が進むのであれば困る」など、優先順位は色々あると思いますが、「これがなくなるのであれば待つてほしい」ということがあるとすればどういうことか、意見の交流をお願いしたいと思います。

——— グループ毎に意見交換 ———

委員長 それでは、最後にお一人ずつご意見をいただく時に合わせてご発言いただくことにします。では、もう一つの話題について事務局から説明をお願いします。

事務局 資料により適正規模に係る教育委員会の考えを説明する。

委員長 誰にとって適正規模というのかなかなか難しい話で、こういう条件にしたら必ずこうなるということはあまり言えません。規模を揃えなきゃいけないのかどうなのかという議論もあります。規模はどうあれどのように学校を運営していくかということになると思います。少し時間を取りますので学校の規模について意見のやり取りをお願いします。

——— グループ毎に意見交換 ———

委員長 それではお話が途中かもしれませんが、お一人ずつ今日の検討委員会の中でお考えになったことをご発言いただきたいと思います。改めて統合について大事にしてほしいことや心配なこと、学校の規模のこと、あるいは高畠の教育がこうなったらいいなということがあれば、この機会に触れていただければと思います。

委員 一番の心配は築50年になる校舎や体育館があるということで、その中で子どもたちが安全に過ごせるのかということです。安全が確保されれば現状でもいいと思いますが、それができなのであれば統合した方がいいのではなかとと思います。ただ地域との結びつきが希薄になる懸念もあるので公民館が主体となって、未就学児から大人まで関わる事業を多く行ってもらえば地域との関わりは保てるのではないかと思いました。

委員 現時点で統廃合を考えると今の高畠中学校の規模をイメージしてしまいます。これから統合に向かとしても10年ぐらいかかると思います。10年後は1校に統合したとしても1学年で3、4クラスになり、そこからさら減っていく可能性が高いので、後々のことを考えれば1校への統合で早く動いてもらいたいという思いが強くなりました。

委員 地域との関わりが一番だと思います。1校統合してしまうと関わりがなくなるという考えをなくして、地域が頑張って関わっていけば1校でもいいのかなと思います。これから10年後は1学年3、4クラス、全体で多くて24クラスと考えると結構大きいので、先生の目が行き届くのが心配な点です。

委員 亀岡小は今年から複式学級が始まりました。学力が向上したのは複式の効果なのかと思うところもあります。統合もいいと思いますが、考えれば考えるほど現状のままでいければ本当はいいのではないかと考えています。統合によって学力が下がっては意味がないし、学力が下がらないように、そして行事は大人数で出来たら最高だと思います。

委員 統合することによってメリットが大きいと感じました。メリットは、規模が大きいと教科別で教えることが出来たり、スクールカウンセラーや支援員を配置出来たり、色々な先生と関わることで子どものいいところが伸ばせるのではないかなと感じました。デメリットは地域

との関わりが希薄になるのではないかという心配の意見が聞かれたことと、幼小連携が難しくなるのではないかと心配しています。また、子どもの気持ちを聞く機会があれば良いのではないかと感じています。

委員 グループ内で意見交換した中では、適正規模というのは誰にとっての適正なのか、子ども、地域、職員によってそれぞれの観点があると思いますのでどれくらいが適正なのかというのは答えにたどり着けないなと感じています。統合することにはポジティブに考えたいと思いますが、ハード面の環境が現状よりも良くなることが一番大事にするべきだと思います。統合の目的やねらいを子どもたちにも意識、認識してほしいですし、教育環境の充実が重要になると思います。子どもたちに望みたいのは、人数が増えればコミュニケーションの機会も増え、いろんな刺激を受けて主体性を持ち、多くの仲間との仲間意識や面倒見が自然と出来るような環境が出来上がるといいなと思いました。

委員 統合することに反対ではないので、子どもたちがより良くなればと考えています。統合した場合に地域との関わりが希薄になるのではないかと、現在学校をサポートしていただいている人たちが違う地域へは行けなくなるのではないかと心配です。地域の関わり合いを強くするための何かを考えないといけないと思いました。

委員 私の周りにも様々な意見があります。私自身は統合をマイナスに考えていません。子どもたちが小規模校から中・大規模校に環境が変わったときに「統合してよかった」と感じられるようにしないといけないと思いますし、小規模校の子どもや保護者を安心させることが重要だと思います。規模については一概に言えませんが、少人数の学校の方が先生方の手が掛かることが多いかなと感じています。統合して子どもたちの学力が下がらないように、分からないことを分からないまま積み上げないように、人の配置などを考えていただきたいと思います。

委員 適正規模はあるようでないようで、子どもたちはだいたい適応していくと考えています。統合は避けられないと思いますが、高畠町の良さ、それぞれの地域の良さ、ここでしか出来ない体験が出来ることが大事だと思っています。高畠町のメリットを生かしてもらえる学校であれば、人数の大小は関係ないと考えます。

委員 子どもたちが元気に「行ってきます」、「ただいま」と帰ってくればいい学校なんだと単純に思います。いろいろ議論はあると思いますが、子どもたちが「今日も楽しかった」「勉強おもしろかった」と言えることが一番だと思います。規模については、これまで大人数で楽しかったと思うこともあれば、少人数のクラスで良かったなと思うこともあったのでとても難しいです。

委員 これまでの統合の経験を通して感じたのは、小学校、幼稚園の現役の保護者の考えを大事にしてほしいと思います。その次に地域をどのように維持していくか考える方がスムーズに事が運ぶように感じています。教員の立場からは、規模の大小というより、与えられた環境の中でその学校の良さを生かして子どもたちの可能性を引き出すことに一生懸命傾注していくこ

とが私たちの使命だと考えています。

委員長 みなさんありがとうございました。それでは協議は閉じさせていただきます。

◇その他

事務局 委員長ありがとうございました。

ここで、第5回検討委員会の会議録について何かございましたらご指摘いただきたいと思います。

(発言なし)

◇閉会

事務局 それでは以上を持ちまして第6回検討委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。